

平成30年度熊本地震復興支援ボランティア

代表者 藤本 紗帆 (工学部安全システム建設工学科3年)

1. 目的と概要

このプロジェクト事業は、熊本地震が発生した2016年から毎年続けている熊本でのボランティア活動を継続となる活動です。

この事業の目的の一つ目は、テレビや新聞などで報道されることが少なくなった熊本地震被災地で活動することで、地震から発生から2年以上経過した現地の状況や現地での課題を理解することが目的です。

二つ目の目的は、被災者の方々に楽しんでもらうことです。仮設住宅から離れる人が多くなっている今、ボランティアと被災者の方々が一緒に楽しめるイベントが求められています。交流することができるイベントである「工作教室」や「うどん教室」を催しました。また、被災者の方々とお話しすることで、被災当時から現在に至るまでのお話を聞き、香川大学生の防災意識を高めるとともに、大災害に対する心構えを学びます。

三つ目の目的は、熊本地震発生直後から、熊本地震の復旧・復興支援活動を行っている熊本大学ボランティアサークル「熊助組」との交流を継続していくことです。熊助組とは2016年から継続的に連携して活動しています。今年度も、活動の計画、現地のニーズ調査やビラ配りなど協力していただきました。

2. 実施期間（実施日）

平成30年8月9日から 平成30年8月10日まで（2日間）

3. 成果の内容及びその分析・評価等

活動1日目は足湯・手芸ボランティア、テクノ仮設団地D地区自治会長、NPO法人益城だいすきプロジェクト・きままに代表理事 吉村静代さんの吉村さんとの対話を行いました。

足湯・手芸ボランティアは、2つの仮設団地に分かれて2時間程度行いました。この活動の目的は、足湯や手芸をしながら仮設団地の住民の方とお話をすることです。一緒に足湯や手芸を一緒に行うことで交流を深めます。なかには、「チラシを見



て、楽しみにしていた。」と言ってくださった方もいました。



吉村さんとの対話は、香川大学生が、避難所運営、仮設受託での生活をより深く知るために企画しました。熊本地震の被害、避難所運営を行った経験、交流を続けていくことの大切さをお話ししていただきました。実際に避難所運営を行った吉村さんからの話を聞くことで、自分たちがそういう立場になったとき、どうすればいいか具体的に考えることができるいい機会となりました。避難所では、当番制にして強制的に役割を与えるのではなく、それぞれが得意な分野で出てきて役割を果たすという方法のほうが、モチベーションが上がり、上手くいくそうです。また、ボランティアは継続することが大切だと教えていただきました。

継続していると、その場の方々からの信頼を得られ、被災者の方々も安心して参加してくださるそうです。普通にボランティアに行っただけでは聞くことの出来ない、貴重なお話をしていただきました。

2日目は、昨年と同様、仮設団地の集会場にて「うどん教室」を行いました。うどん教室は、住民の方々と一緒にうどんを作りながら交流し、楽しめる場とすることが目的です。参加していただいた住民にアンケート調査を行い、「うどん打ちを初めて体験させてもらいありがとうございました。美味しかったです。自分でもやってみたいと思います。レシピ参考させてもらいます。」「お忙しいところ本当に御馳走になりました。又、このような場を催して下さい。お願いします。」といった嬉しい意見をいただきました。また、昨年のうどん教室を覚えて下さっていた方もいらっしゃいました。うどんの提供食数は約150食で、昨年よりも多くの数を提供することが出来ました。



また、このうどん教室は、テレビ熊本に取材していただき、夕方のニュースの復興のコーナーで紹介していただきました。



4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

このプロジェクト事業を実施したことにより、香川大学や地域社会等に与えた影響として、以下のものが挙げられます。

① 被災地仮設団地の復興の力になる

今年度の活動では、昨年よりも参加人数を増やすことができました。これは、昨年に引き続き、活動を継続しているからだと考えられます。昨年の活動を覚えてくださって参加してくださった方もおり、香川大学防災士クラブの活動が現地の方々の印象に残ったと思います。そして、少しでも現地の方々の復興の力になれたのではないかと考えています。

② 学内報告会によって経験したこと・学んだことの共有

現地での活動後、10月、2月に活動に参加したメンバーが現地で行った活動、学んだこと考えたことなどを報告しました。地震発生から2年以上経過しても復興が完全に終わっていない、まだ地震の爪痕は残っていること、ボランティアを行うことの意味などを共有することで、香川大学生の防災意識、防災力に貢献できたと思います。



③ ホームカミングデーでの地域への報告

ホームカミングデーにおいて、香川大学OB・OGの方々にこのプロジェクト事業を報告させていただきました。学内報告会は学内で集めた学生だけが対象であったのですが、ホームカミングデーでは、地域で活躍している香川大学OB・OGの方々に報告させていただき、香川大学生が力を入れて行っているプロジェクトとして知っていただけたと思います。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

昨年に引き続き、学生支援プロジェクトとしてこのプロジェクト事業を採択していただきました。参加者の中には、一昨年から熊本地震に関するボランティアに参加した人もいれば、昨年から参加した人、初めてボランティアに参加した人など、様々な人がいました。一昨年や昨年から参加した人にとっては、一昨年や昨年から被災地はどのような変化があったかや、今までの活動を覚えて下さっている方に出会える、など、何度足を運んでも学べること感じる事が出来ました。初めて参加した人にとっては、ボランティアに参加することの意味、行動、被災地について知ることができました。

被災から2年以上が経過し、多くの方が仮設団地から離れているという現状があります。まだ仮設団地に残っている方々は、「人が減り、寂しい。」とおっしゃっていました。今では、もうあまり報道されていない熊本地震の被災地ですが、まだまだボランティアの力が必要であることを感じました。

仮設団地の吉村さんから、継続することの大切さを学びました。継続し、ネットワークを大事にすることで、信頼関係を築くことができます。そのため、来年度以降もこの「熊本地震復興支援ボランティア」を継続していきたいと今まで以上に強く意識するこ

とができました。また、近い将来発生するとされている南海トラフ地震が発生したとき、それまでに築いてきたネットワークが活かされます。県内だけでなく、県外においてもネットワークを大切にすることで、いざというときに助け合うことが出来ます。

今年は、多くの災害が発生しました。防災士クラブでも県外の被災地でボランティア活動を行いました。このプロジェクト事業で学んだネットワークの大切さ、継続することの大切さを強く意識して取り組むことができたのではないかと思います。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

このプロジェクトの反省点は、計画・準備段階から参加しているメンバーが少なかったことが挙げられます。プロジェクトの応募から、現地での活動までの期間が短くメンバーに役割分担を十分に行うことが出来ていませんでした。計画・準備は主に3年メンバーが勤めましたが、来年以降も続けていくためには、1・2年も積極的に計画・準備に巻き込むべきだったと考えました。その反省点を活かして、学生向け活動報告会やホームカミングデーの報告では、学年に関わらず役割分担をすることを意識しました。

今後の展望は、やはり、この熊本地震復興支援ボランティアの継続です。何カ所ものボランティア活動に参加してきましたが、継続の大切さを今までの活動の中で一番実感することが出来ました。熊本では、被災者とボランティアと一緒に楽しく活動することが求められています。そのためには、来年度も熊本との連携、ニーズが必要です。仮設団地は運営されるのには期限があり、住んでいる方の年代、状況も



年々変化していきます。新たなニーズに対応できるよう、熊本大学との連携を大切にしていきたいです。また、熊本大学に加え、新たな学生や団体とも交流を広げていくべきであると考えます。

学生が主体となり、プロジェクトを進めていくことは簡単ではないことを改めて知ることができました。しかし、現地での活動で、仮設団地の住民の方々にありがとうと感謝の言葉をいただき、「楽しみにしていた。」、「またこのような行事をしてほしい。」と言っていたときに、このプロジェクトを行って本当に良かったと思いました。熊本地震被害の復興はまだまだ始まったばかりです。私たちが活動してきたことをしっかりと人に伝え、より多くの人にネットワークを広げていきたいです。

7. 実施メンバー

代表者 藤本 紗帆（工学部3年）

構成員 岡田 真実 (法学部3年)	岩部 智花 (法学部3年)
川合 大地 (工学部4年)	足立 夏海 (工学部4年)
伏見 和真 (工学部3年)	南 琴実 (工学部3年)
明石 崇史 (工学部2年)	宮崎 夢海 (工学部2年)
佐藤 美月 (創造工学部1年)	矢野 安珠佳 (創造工学部1年)
桑原 七実 (農学部1年)	善積 麻衣 (農学部1年)

協力団体 熊本大学ボランティアサークル「熊助組」

8. 執行経費内訳書

配分予算額		184,000円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
オーサワ 南部地粉(中力粉)(1kg)	10	490	4,900	
契約栽培 片栗粉(200g)	5	280	1,400	
郷の恵み 天然水(2L*6本入)	2	580	1,160	
瀬戸のおいしい海の塩(1kg)	1	200	200	
ヤマキ めんつゆ(1L)	9	500	4,500	
焼細きざみのり(10g)	10	220	2,200	
いりごま(白)(150g) みたけ	3	280	840	
国産生おろし生姜(40g)【東京フード】	4	400	1,600	
森永 ホットケーキミックス(150g*4袋 入)	7	400	2,800	
緑茶 伊右衛門(2L*6本入*2コセット)	1	2,800	2,800	
カルピスウォーター(1.5L*8本入)	1	2,400	2,400	
どんぶり中(25個パック)	4	267	1,068	
DCM薄手ゴミ袋 半透明(45L 50枚入)	1	246	246	
アイラップ家庭用(60枚入り)	1	149	149	
DCMテーブルふきん カラー(50枚入り)	1	861	861	
DCMウエットティッシュ除菌(100枚入り)	2	213	426	
DCMネットスポンジ(5個入り)	1	105	105	
ポリエチレン手袋M(100枚)	2	170	340	
イワタニカセットガス CB-250-0R	2	537	1,074	
引越し用仮止めテープ(50mm×25m)	1	321	321	
DCMエコ元禄割箸(100膳)	2	192	384	
DCM紙コップ(120個入り 205ml)	1	300	300	
DCM紙コップ(30個入り 205ml)	1	84	84	
DCM油汚れすっきり洗剤(250ml)	1	105	105	
牛乳1L	5	203	1,015	
生卵(10個入り)	5	199	995	

板チョコレート	2	95	190	
氷 (1kg)	4	98	392	
手洗い洗剤	1	286	286	
荷物運送料 (香川～熊本)	1	8,883	8,883	
荷物運送料 (熊本～香川)	1	5,961	5,961	
夜行バス、高速バス料金 (往復)	11	12,365	136,015	
合 計			184,000	